



実施体制

大学共同利用機関である統計数理研究所が中核機関となり、8つの協力機関との連携のもと、様々な業務を行っています。また、外部有識者により構成される運営委員会を設置し、関連学協会・大学等や諸科学・産業の意見を運営に反映させています。

重点テーマ

数学協働プログラムでは、数学・数理科学的な知見の活用による解決が期待できる課題の発掘から、諸科学・産業との協働による問題解決を目指した研究の実施を促進するため、運営委員会において6つの重点テーマを設定しています。

ワークショップ

数学協働プログラムでは6つの重点テーマに基づき、諸科学分野・産業界における具体的な課題や、数学・数理科学へのニーズの発掘のためのワークショップを公募し、実施しています。平成26年度より、若手研究者の応募や、新たな発想に基づく萌芽的提案を奨励する「奨励枠」も設け、より多角的視点からの課題の発掘を促しています。

スタディグループ

スタディグループは、諸科学分野や産業界から具体的な課題の提供を受けて、あるいはワークショップ等で発掘された特定の課題に対して、数学・数理科学者と諸科学・産業界の研究者・技術者が協働し、課題解決に向けた集中討論を行うものです。数学協働プログラムでは、課題の募集から、数学・数理科学研究者とのコミュニケーション・橋渡し、集中討論・解決に向けた協働作業に至るまで包括的な支援を行っております。課題は随時募集していますので、興味をお持ちの方は気軽にお問い合わせください。

文部科学省委託事業 数学協働プログラム

数学・数理科学と諸科学・産業との協働によるイノベーション創出のための研究促進プログラム

本プログラムは全国の数学・数理科学研究者と諸科学・産業の研究者が集中的・継続的に議論する場を提供することにより、数学・数理科学と諸科学・産業の協働による具体的課題解決に向けた研究を促進することを目標としています。

シンポジウム

数学協働プログラムでは数学・数理科学をより身近に感じていただくための一般向けアウトリーチ活動を行っています。

- 平成24年度：「数学・数理科学と共に拓く豊かな未来」
- 平成25年度：「世界は『計算!』されている？」
- 平成26年度：「科学における発見、数学における発見」
- 「『創って動かす』生物研究・数理科学とロボット工学からのアプローチ」 in サイエンスアゴラ2014

チュートリアル

数学協働プログラムでは諸科学・産業界からのニーズのある数学・数理科学の特定テーマを選定し、チュートリアルセミナーを実施しています。平成25年度の「ビッググラフと最適化」に加え、平成26年度はスタディグループ開催中にチュートリアルを実施する事で、具体的課題解決の一助となる概念の理解と習得を促し、数学・数理科学者と諸科学・産業界の研究者・技術者の間で相互に専門的知見を共有する機会を作り出しています。

作業グループ

数学協働プログラムでは数学・数理科学を活用した課題解決に向けた研究内容・体制の具現化のため、作業グループを設置して活動しています。

現在「数理材料科学」「数理生命科学」の2グループを設置し、具体的課題の発掘や数理としての問題の抽出のための議論、数理科学の物質・材料系分野への応用例を紹介するワークショップの開催、相異なる分野のパイプ役となる人材育成の方法等の議論を通して、異分野協働の流れを生み出す活動を展開しています。

数学協働プログラムでは、ホームページを始め、TwitterやFacebook等のSNSサービスを通して、数学・数理科学と諸科学・産業との協働に関する様々な情報を提供しています。ぜひお気軽にご利用ください。

数学協働プログラム事務局 〒190-8562 東京都立川市緑町10-3
 Tel : 050-5533-8472 Email : coop-math-sec@ism.ac.jp
 URL : http://coop-math.ism.ac.jp
 Twitter : @CoopMath ハッシュタグ : #CoopMath2014
 Facebook : https://www.facebook.com/CoopMath

